

第3回

「大洲市総合計画審議会」・「大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定戦略会議」 議事要旨

日時：平成28年2月2日（火）午後2時

場所：大洲市役所 2階 大ホール

1 大洲市人口ビジョン（素案）について

2 大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

【事務局】 説明

【委員】 「教育の振興」のKPIに「子どもの学力や体力の確保」を追加して欲しいと思います。勉強の質が高い市町に住みたいと考える保護者や大洲市の学力レベルに関心を持っている保護者がいらっしゃいます。また、「未来を拓く子どもの育成」の中で「子どもの学力や体力を育む」といった文言を追加して欲しいと思います。

【事務局】 教育委員会と相談しながら決めていきたいと思います。

【会長】 大洲市に誇りを持つため、「歴史や郷土を育む心を培う」といった文言も必要でしょう。

【委員】 個人的に、平成31年度の目標値が少し弱気を感じます。特に「観光の振興」について、観光施設入込客数は5%増となっていますが、いやし博や国体なども控えていますので、もう少し強気に設定できませんか。

また、「商工業の振興」については企業誘致だけでなく、今ある企業の留置政策も必要だと思います。

「子育て支援の充実」や「女性の活躍促進」については、三世代同居など、田舎の良さを活用する取組みはできませんか。田舎では地域コミュニティがしっかりしているので、防災対策や買い物難民対策にもつながると思います。

【事務局】 入込客数については担当部局と協議の上、検討します。三世代同居については、国でも住居の支援等が進んでいます。アンケートでも子育てに親族等の支援が必要との回答が多くありましたので、検討したいと思います。

【委員】 どの市町も観光振興には力を入れていますので、大洲市単独での観光集客は難しいではありませんか。愛媛には、九州からは八幡浜、広島からは松山と、それぞれ玄関口がありますので、広域連携で施策を考えるべきだと思います。

現在は、多くの観光客が最終的には松山市に宿泊するそうです。どうしても大洲市は素通りされてしまうので、広域で連携する仕組みが必要だと思います。

他府県では、新婚旅行を機と捉え、ブライダル関係と連携した取組みが見られます。新婚旅行で愛媛県に来て頂き、将来の交流人口を増やすことが地域の活力にもつながります。こういった取組みの追加を検討して欲しいと思います。

- 【会 長】 南予の広域連携として、南予地方各市町の行事カレンダーを作成・配布してはどうですか。
- 【委 員】 南予いやし博では、パンフレットとしてイベントカレンダーを配布する予定があり、現在準備中です。できる限りご期待に沿うようなものを作って、集客できるようにしたいと思います。
- 【会 長】 大洲市の食文化と言えは芋や鮎がありますが、旬が短いので、年間を通して食べられるものを開発していく必要があると思います。
- 【委 員】 志ぐれや果物をもっと売り出したいと考えています。また、カヌーや自転車といったアウトドアと連携できればと考えています。文化財を紹介するツアーとの連携等、大洲市の文化等を見直して、観光と合わせていくと観光客が増えると思います。
- 【会 長】 青島は猫しかいませんが、インターネットで発信できれば変わるとの意見がありました。また、青島は長浜等の大洲の他地域を観光するきっかけになります。観光は様々な分野を組み合わせることでPRすることで相乗効果が生まれます。
- 【委 員】 青島では、地域住民の暮らしを守ることも大切です。また、青島行きのフェリーターミナルで中国人の方とお会いした際、「インターネットで青島が猫の島という情報を知って観光に来た」との話聞き、情報発信が重要と感じました。情報発信や広報の方法から観光振興を検討することが必要です。
- 【委 員】 人口減少の要因として、松山方面への大幅な転出超過が挙げられます。一方で、大洲市から松山市、松前町、伊予市へ通勤している方も多くいます。大洲から中予方面、松山までの通勤は可能だと分かります。大洲市に住み、松山市等に通勤する方が増えれば、転出が減少すると思います。何か取り組みを検討してください。
- 【事務局】 市役所では、来年度から移住定住に関する総合窓口を設置します。その際、移住定住の支援策である空き家の改修支援や創業支援、結婚時の居住支援と合わせて、通勤者への交通費支援等も検討していければと思っています。
- 【会 長】 JRも定期の宣伝を頻繁に行っていますが、松山までは大人で月5万円ほどかかります。何らかの支援があればと思います。
- 【委 員】 JRだけでなく、バスや自家用車等による通勤もありますので、色々な方向から検討して欲しいと思います。
- また、今ある企業の留置対策の話がありましたが、人口減少対策も同様に、今住んでいる人が出ていかないために、市民の定住希望を実現していくべきと思います。
- 【委 員】 医療体制についてです。大洲市には小児科や産婦人科が揃っており、近隣市町の方も大洲市で出産しています。大洲市は出産・子育てをしやすい環境ですので、良い点だと思います。一方、以前は脳梗塞や心筋梗塞等にも対応できていましたが、現在は担当医が不在とのことで、このような場合は松山市へ行く方が多いようです。患者さんが松山の病院へ行くと、付き添いの方も松山へ行く必要があります。負担になります。そういった点から、診察科の充実やスタッフ増員により、さらに充実した医療体制ができればと思います。

【委員】 大洲市の出生率は県内2位にも関わらず、目標値が低いままだと感じます。「子育て支援の充実」に掲げられている施策は、既に実施されているものも多いと感じます。「子ども医療費補助制度の拡充の検討」とありますが、どこまでのサポートが可能か、興味があります。

また、大洲市では重症児に対する支援が不十分と思います。できれば市内に重症児の施設を作っていただければと思います。それが難しいのならば、西予市や八幡浜市などの近隣市町と連携してサポートしていただければと思います。

また、人材育成に対する支援が重要と思います。観光や福祉等の分野で、幅広い知識を持った人材の育成を支援して欲しいと思います。

【事務局】 福祉分野の人材育成については記載していないので、担当課とも相談をして今後検討していきたいと思います。子どもの医療費無料化は現在検討中です。ただし、医師が少ないため、受け入れ人数が限られます。財源だけの問題ではないので、国にも全国一律で取り組むべきだと強く要請しているところです。

【委員】 観光の振興の中で、外国人観光客に関する記述がありますが、大洲市在住の外国人は何人いますか。KPIの「外国人観光客10%増加」は少ないと感じます。

【事務局】 住民基本台帳では、現在、市内に136名の外国人の方がいることになりましたが、実態を把握したいと思います。企業の研修として来られている方も多いので、そのような方が研修後に大洲市をPRしていただき、また沢山の方に研修に来ていただけるようにしたいと思います。

【委員】 農業の振興についてですが、メンマを生産するために、各地で講習を行っています。去年は愛媛全体で1.2トンの生産でしたが、今年は大洲市で5トンの生産でした。講習は熱心に聞いてもらっています。目標を達成できるように頑張っていきたいと思います。

【委員】 重症児への支援は非常に重要と思います。そういったフォローが不足すると松山市への転出に繋がります。また、高齢出産をためらう事にも繋がります。

また、出生率を2.07まで向上するためには、男性の意識を変える必要があります。男性が子育てや家事を手伝う家庭ほど、子どもの数が多いといわれています。施策も必要ですが、意識も変えていかなければなりません。

さらに、不妊治療についてですが、この原因の半分は男性にありますので、男性の不妊検査に関する啓発を進めていくべきだと思います。

【会長】 働き方が多用化し、非正規社員が増えましたが、非正規の方ほど結婚しにくいと思いますので、行政から企業へ、正規雇用への転換を働きかけることが必要だと思います。